

大阪の 社会福祉

2020.1

776

The social welfare
in OSAKA

- 元気通信 旭区 高殿南地域から
アットホームな第2のおうち 2
- 施設協 市社協
姉妹都市シカゴからの学びを大阪の福祉実践へ
大阪府・シカゴ市社会福祉協議会・シカゴ市社会福祉協議会
シカゴの社会福祉 視察研修参加者レポート① 3
- 民生委員・児童委員を「一斉改選」
市社協 大阪府地域福祉活動推進委員会
各区の特長的な取り組みを集約 4
- 市社協 地域福祉シンポジウム(2月5日)参加者募集
小地域福祉活動の推進と今後の展開について 9
- 東淀川区 支え合い・助け合いの地域を目指して 10
- 福島区 ひきこもりと8050問題を考える 11
- はじめまして！こんにちは
NPO法人 子どもセンターぬつく
安心できる実家のない子どもたちに居場所を 12



大阪府社会福祉協議会

<http://www.osaka-sishakyo.jp>令和
2年
年頭あいさつ社会福祉法人
大阪府社会福祉協議会
はるよし

会長 宮川 晴美

新年あけましておめでとうございませう。

皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は、豪雨災害や台風など、風水害が多発し、甚大な被害がもたらされました。

本会におきましては、福島県

郡山市で開設された災害ボランティアセンターの運営支援のために、区社協と連携して職員を派遣するとともに、大阪府社協、堺市社協と共催で、長野県長野市へ、災害支援ボランティアバスを運行しました。1日も早く元の生活に戻り、安心して暮らすことができるよう、引き続き支援活動をおこないますとともに、改めて災害対応の重要性を認識し、体制整備を強化してまいります。

災害時には、住民同士のつながりや助け合いが大きな力になることから、地域の方々とともに、防災訓練や防災教育などを通じて、防災、発災時の対応、

減災について学び、平時からお互いが支えあえる関係づくりがますます重要になってまいります。

本会は、区社協と一層連携しながら、誰もが孤立することなく、つながり、支え合うことのできる地域づくりに向けた取り組みを一層進めてまいります。

また、平成30年3月に策定しました「大阪府地域福祉活動推進計画」においては、「担い手」「居場所」「見守り」の3つの重点目標を掲げ、最終年となる今年は、これまでの評価・検証をふまえ、地域住民・団体をはじめとする多様な主体による地域福祉の取組みをさらに進めてまいります。

本年も「一人ひとりの人権が尊重されるやさしさとぬくもりのある福祉によるまちづくり」の実現に向け、各区社協との連携を図り、役職員一同、広く市民の皆さまに信頼される「社協」をめざしてまいります。

年頭にあたり、各区・各地域社会福祉協議会、民生委員・児童委員、主任児童委員、社会福祉施設、企業、NPOならびにボランティアの方々をはじめ、市民の皆さまに一層のご支援・ご協力をお願いいたしますとともに、皆さま方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。

HB

大金持ちの話は腹が立つくらいうらやましい。寄附をすること、困っている

人が救われると思うと、それが人生の何よりの楽しみだという人に会った▼産みの親の顔も名前も知らずに、生まれた時からの施設暮らし。もの心つく頃に養子にもらわれたが、その義父というのがアルコール依存症。義母は家を出て行って、二人で借家を転々々家賃、水道代、電気代を一切払わなくても、大体3か月は追い出されることはなかったとか。昼間の大半はパチンコ屋で落ちた球を拾う毎日だった。そんな極貧の中で、大金持ちになりたいという夢を抱く▼サラリーマンより自営。そして、ちゃんと目標を設定して、一つ一つクリアした結果、店舗が増えていく。それがうれしくて、働きづめに働いた。黄色がラッキーカラーで、全国展開の店の看板も黄色、ネクタイも黄色、家の前の道路も、季節ごとに黄色い花で埋め尽くしているらしい▼夢だけでは豊かさは手に入らない。具体的な目標をもって、一つずつ実現させてこそ。働くことはその第一歩。今年は私も一層働いて、他人の喜びを自分の喜びにする実感を味わってみたい。(石)

障がい者週間
12月3日～9日

障がい者理解を 深めていくために

障害者基本法では12月3日から9日までの1週間を「障がい者週間」と定め、障がい者自らの自立と社会参加への意欲を高めるとともに、障がい者に関する市民の理解や認識をより一層深めるための運動を展開していく期間としており、全国各地でさまざまな取り組みがおこなわれている。

大阪市内においては、大阪市身体障害者団体協議会（以下、市身協）と市社協が主催して、広く市民に障がい者への理解と認識を深めるため、毎年、街頭キャラバンが巡回訪問し、啓発活動を実施している。12月3日に市役所前でキャラバンの出発式がおこなわれ、障がい者団体や社会福祉関係者など約200人が参加した。

出発式では市身協の手嶋勇一会長からの挨拶で「国の施策は進んできているが、引き続き、障がい者の理解や認識をより一層深めていくため、行政や社会福祉関係団体、障がい当事者団体とともに、ありのままの姿や切なる願いを訴え続け、支え合い共生できる社会を実現していくため、啓発活動をおこなって



いきたい」と決意を述べた。その後、鍵田剛副市長からキャラバンへ激励のあいさつがあり、参加者の見送りでキャラバン広報車が出発（写真）。5日間をかけて市内各所を巡回した。

同週間の6日には市長に対する要望書を市役所内で手交した。誰もが地域で安心して住み続けられる社会になるよう、本会としても取り組みをすすめていく。

元気通信

旭区 高殿南地域から
アットホームな第2のおうち
～ゲームで一体感を醸成～

高殿南地域活動協議会では、毎月、第3日曜日の10時～15時、誰もが自由に使える、ほっとできる場として老人



憩の家に「開放デー」を設けている。身近に孤独死が起きたこともあり、特に独居の方の参加を促している。第3回目の12月15日は、新しい顔ぶれも増え、開放デーは、盛況をみせていた。

取組みの背景について、会長の佐藤博昭さんはこう話す。「台風被害の時に、対応が



お天気のいい日はテラスでお茶しましょ！

初めての人もゲームを通していつのまにか仲良しに

そこで採り入れたのが「コミュニケーション麻雀」。通常の麻雀と違い、初心者にも簡単にできる。「どれ捨てる？これにする？」。3人1チームで相談しながらおこなう。わからないこともすぐ聞ける。そのうえ、パイが大きいので腰が伸びるし、テーブルが広いので大声で声かけしあうなど、健康にもいいことづくし。コミュニケーション麻雀だけでなく、囲碁

や将棋なども楽しまれている。ゲームの合間には、セルフコーヒーでおしゃべりに花を咲かせている。

「座っているだけでいいよ」と誘われた初参加の女性は、「遊び方を知らなくても自分のチームが勝ったらうれしいし、知らない人ばかりだったけど、ゲームを介して会話がはずむ。何より、受け入れてくださる雰囲気があるから居心地がいい」と好感触だ。

副会長の植月勇さんは、毎回、いろんな人に参加を募り、当日は朝一番乗りで設営に励んでいる。「私も一人暮らし。人と接して、話をするのが大切。楽しいことが伝わればきつと来てくれる。居場所を見つけてほしい」と話す。

今後について、「人それぞれ好きなことがあるので、それをうまく活用して、活動を展開していきたい」と高殿南連合振興町会副会長の山田不二夫さん。

現在は、高齢者の参加が中心だが、環境を整え、こども用のゲームやタブレットも準備している。参加者の幅を広げながら、世代を超えた交流ができる「第2のおうち」をめざしている。

〈大阪市・シカゴ市社会事業従事者研修・交流プログラム〉

大阪市とシカゴ市は、1973（昭和48）年に姉妹都市提携が結ばれ「大阪市・シカゴ市社会事業従事者研修・交流プログラム」を実施しており、大阪市社会事業施設協議会（以下、市施設協）と市社協が派遣団の調整、シカゴ市使節団が来阪した際のプログラム調整などの協力をおこなっている。

この事業は2008（平成20）年から始まり、これまで使節団の受入れは5回延べ36人、シカゴ市への派遣は5回延べ46人へのぼり、両市の社会事業に関する歴史的背景や相違点など、相互理解を深めてきた。今年度は11月9日から16日、



社会福祉法人敬愛会・がもう保育園の徳村 優 園長を団長とし、市施設協加盟団体の推薦者と市社協職員8人がシカゴ市を訪問した。プログラム構成については、ノースイースタンリノイ大学の高橋まさみ教授を中心としたシカゴ姉妹都市協会大阪委員会ソーシャル・サービス部会委員関係者と大阪市側の実行委員会でおこない、ハルハウス博物館をはじめとして、障がいのある成人のための居住施設、拘留所、生活困窮者を支援する組織など、さまざまな施設の視察や団体との交流、また各福祉分野の施設等での研修や体験をおこなった。

市施設協及び市社協では、各使節団がこのプログラムを通して社会福祉関連職として忘れてはならない基礎を異文化の中で再確認し、現地での経験が社会福祉の実践における質の向上、また従事者の仕事への誇りにつながるよう支援するとともに、両市の福祉の発展と充実にもつなげていきたい。

今号から8回にわたり、プログラム参加者のレポートを掲載する（下記参照）。

シカゴの 社会福祉

視察研修参加者レポート①



「公立小学校における 各専門職の手厚いサポート」

社会福祉法人 敬愛会 がもう保育園 徳村 優さん

11月14日にシカゴ市公立小学校を訪問しました。米国では公立学校での教育内容について地域間格差が非常に大きいです。富裕層が住むエリアでは教員の給与が高く、施設も整備されている一方、貧困地区では教室の壁に穴が開いており、教科書や図書館すらありません。全国で一定の教育水準が担保されている日本の公教育とは大きな違いがあります。

訪問した学校では専属のソーシャルワーカー（以下「SW」という。）が2人配置されていました。米国では学校にSWを増やす傾向にありますが、その他にも看護師、セラピスト、言語聴覚士など多様な職種が学校に配置されています。教員以外の専門職が1つの学校に専属で配置され、子どもの成長に各専門分野からしっかりと関わっています。

SWの仕事の一つは障がい児支援です。障がい児への支援について

ては、まずSWに相談があり、対応策が検討・実施されます。対応策がその子にとって有効かどうか観察・評価し、必要に応じて一定期間ごとに見直しします。「制約のない環境で最小限の対処をする」というのが支援のゴールです。

具体的な支援方法の一つとして「頑張りカード」があります。対象児だけに配布され、SWの観察のもと80点以上に達すれば、サイコロを振って、ハイタッチ、握手、シールやおもちゃなどのご褒美が貰えます。また、教室はともてカラフルで、至る所に子どものモチベーションを高める言葉が掲げられていました。子どもが楽しく前向きに学校生活を送れるよう、外発的動機づけと内発的動機づけがうまく組み合わせられています。

日本でも発達障害が増加しており、教育現場ではその適切な対応が求められています。米国ではそれらの支援が



児童との交流（シカゴ市立小学校にて）

手厚く、日本の教育制度の枠組みの中だけでは得られない貴重な学びを得ることができました。

民生委員・児童委員を一斉改選

592名を新たに委嘱

12月2日、大阪市中央公会堂に於いて、今年一斉改選を迎えた民生委員・児童委員の委嘱状伝達式と新任民生委員・児童委員研修会が、大阪市と大阪市民生委員児童委員協議会の共催で実施された。

第一部委嘱状伝達式では、鍵田副市長から、厚生労働大臣からの委嘱状と大阪市長からの担当区委嘱状を、各区の代表が受

け取った。また、委嘱を受けた3993名の大阪市民生委員・児童委員及び主任児童委員を代表して北区の吉川郁夫民生委員・児童委員が、「私たち民生委員・児童委員が、私たちが民生委員・児童委員及び主任児童委員は、制度創設以来、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、地域における身近な社会福祉推進の担い手として活動を展開してきま



委嘱を受けた委員を代表して北区の吉川郁夫民生委員・児童委員が決意表明

した。本日新たに委嘱を受けた592名と共に、3993名が民生委員・児童委員及び主任児童委員としての自覚も新たに、地域福祉の推進に全力で取り組んで参ります」と三年間のスタートにあたり、決意を述べられた。

第二部の新任委員研修会では、同志社大学の上野谷加代子教授を講師に、「これからの民生委員・児童委員に求められるも



上野谷加代子教授

の」というテーマで実施された。

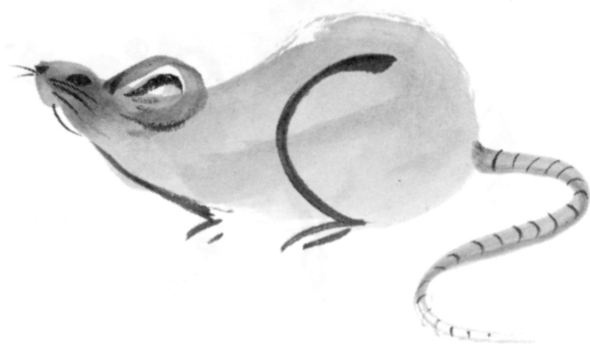
全国民生委員児童委員連合会が民生委員制度創設100周年記念事業として「社会的孤立」をテーマに実施した、全国モニ

市社協 理事会・評議員会開催 ——上半期の活動を報告

市社協は市立社会福祉センターで12月13日に理事会を、12月20日に評議員会を開催した。民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、会長及び副会長に交代があったことから、新たに理事候補者として大阪市民生委員児童委員協議会の吉川郁夫会長及び四宮政利副会長の2名を推薦し、選任された。また、評議員候補者として此花区民生委員児童委員協議会の浦野英男会長及び浪速区民生委員児童委員協議会の阪中雅博会長を推薦し、選任された。理事会では、安全管理規程の一部改正(案)及

ター調査結果を、大阪市と全国の比較を交えて紹介。
「多くの委員が困難な事例に向き合っている」「課題を抱えた住民との関わり方に悩む委員が多い。一方やりがいを感じるのは課題を抱えた住民との関わり」「委員活動を続けていくために自分自身の資質の向上を求めている」といった実態に言及した。「悩みであるとともに、やりがいを抱えた住民との関わり方」についての研修が必要であることや、研修のツールとして作成されたテキスト「事例学習」の紹介があった。
また、民生委員活動と共同募金運動と社会福祉協議会活動は、親和性のある地域福祉実践であることに触れるとともに、これからの地域共生社会に向け、民生委員・児童委員それぞれが、「たすけ上手・たすけられ上手の学びの人」と新たに委嘱された民生委員・児童委員及び主任児童委員へのメッセージで締めくくり、有意義な新任研修となった。
進めていること、令和2年度以降に向けて雇用形態に関わらない公正な待遇の確保に向けて検討していることを報告した。次に、台風19号災害に係る支援として、福島県郡山市の災害ボランティアセンターの運営支援のため、職員を派遣したこと及び長野県長野市へ災害支援ボランティアバスを運行したことを報告した。続いて、来年度大阪府が開催都市となっている指定都市社協・民児連連絡協議会を夏頃開催予定であることを報告した。最後に、大阪府共同募金会において募集された助成金に、地域こども支援ネットワーク事業及び大規模災害に対応するための初動体制整備事業の2つの事業で申請し、助成が決定されたことを報告した。

令和2年 元旦



社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

会 長 宮川 晴美
副会長 清水 弘
永岡 正己
倉光 慎二
矢田貝喜佐枝



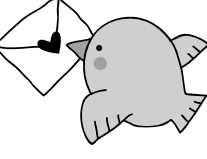
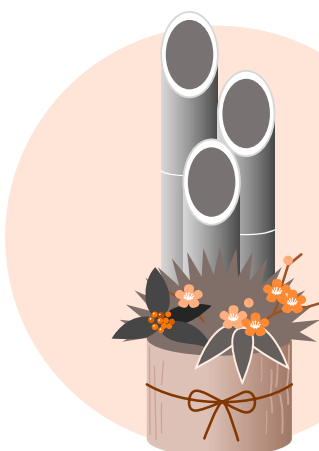
社会福祉法人 大阪市北区社会福祉協議会	会長 小玉 始
社会福祉法人 大阪市福島区社会福祉協議会	会長 矢山 英夫
社会福祉法人 大阪市中央区社会福祉協議会	会長 浦野 皖次
社会福祉法人 大阪市港区社会福祉協議会	会長 武智 虎義
社会福祉法人 大阪市天王寺区社会福祉協議会	会長 中野 明男
社会福祉法人 大阪市西淀川区社会福祉協議会	会長 大垣 純一
社会福祉法人 大阪市東淀川区社会福祉協議会	会長 吉田 正則
社会福祉法人 大阪市生野区社会福祉協議会	会長 多田 龍弘
社会福祉法人 大阪市城東区社会福祉協議会	会長 伊東 允二
社会福祉法人 大阪市阿倍野区社会福祉協議会	会長 永岡 正己
社会福祉法人 大阪市住吉区社会福祉協議会	会長 山下 保一
社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会	会長 田中智偉子

社会福祉法人 大阪市都島区社会福祉協議会	会長 前田 起平
社会福祉法人 大阪市此花区社会福祉協議会	会長 宮川 晴美
社会福祉法人 大阪市西区社会福祉協議会	会長 笹野井庸夫
社会福祉法人 大阪市大正区社会福祉協議会	会長 寄本 文信
社会福祉法人 大阪市浪速区社会福祉協議会	会長 藤井 照信
社会福祉法人 大阪市淀川区社会福祉協議会	会長 三田 和夫
社会福祉法人 大阪市東成区社会福祉協議会	会長 清水 弘
社会福祉法人 大阪市旭区社会福祉協議会	会長 宮本 正路
社会福祉法人 大阪市鶴見区社会福祉協議会	会長 西田 捷男
社会福祉法人 大阪市住之江区社会福祉協議会	会長 中野紀久雄
社会福祉法人 大阪市東住吉区社会福祉協議会	会長 川本 公夫
社会福祉法人 大阪市西成区社会福祉協議会	会長 住谷 誠次



支えあう 住みよい社会 地域から 大阪市民生委員児童委員協議会 会 長 吉 川 郁 夫 副会長 四 宮 政 利 副会長 一本松 三 雪 副会長 山 本 眞 路 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 5 - 5 6 0 9 F A X 6 7 6 5 - 5 6 0 3		社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 会 長 井手之上 優美 副会長 大 西 豊彦 副会長 大 吉 兼 和 常務理事 田 中 彦 進 〒542-0065 中央区中寺1-1-54 電 話 6 7 6 2 - 9 4 7 1 F A X 6 7 6 4 - 5 3 7 4 http://www.osakafusyakyo.or.jp	
大阪市社会事業施設協議会 会 長 倉 光 慎 二 (大阪市地域福祉施設協議会) 副会長 中 西 裕 (大阪市児童福祉施設連盟) 副会長 近 藤 適 (大阪市保育連合会) 副会長 後 藤 静 男 (大阪市老人福祉施設連盟) 副会長 川 端 均 (大阪市生活保護施設連盟) 副会長 山 内 泰 典 (大阪市障害児・者施設連絡協議会) 【事務局】 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 5 - 5 6 0 6 F A X 6 7 6 5 - 5 6 0 7		赤い羽根共同募金  社会福祉法人 大阪府共同募金会 会 長 宮 川 晴 美 〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター2階 電話 6762-8717 F A X 6762-8718 http://www.akaihane-osaka.or.jp	
一般財団法人 大阪市身体障害者団体協議会 会 長 手 嶋 勇 一 副会長 野 村 和 子 副会長 廣 田 しづえ 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 5 - 5 6 3 6 F A X 6 7 6 5 - 7 4 0 7		公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会 会 長 北 玲 子 〒531-0071 大阪市北区中津1-4-10 大阪市立愛光会館内 電 話 6 3 7 1 - 7 1 4 6 F A X 6 3 7 1 - 6 7 2 2 http://www.hitoren-osaka.org/	
一般社団法人 大阪市私立保育連盟 会 長 近 藤 適 つし 会員一同 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 1 - 1 1 7 1 http://o-shihoren.or.jp/		一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟 代表理事 後 藤 静 男 〒543-0021 天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 5 - 3 6 1 1 F A X 6 7 6 5 - 3 6 1 2	
特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会 会 長 倉 光 慎 二 会員一同 〒557-0004 西成区萩之茶屋2-9-2 わかさ保育園内 電 話 6 6 3 3 - 2 9 6 5 F A X 6 6 3 3 - 2 9 7 0		大阪市障害児・者施設連絡協議会 会 長 山 内 泰 典 事務局 此花区障がい者基幹相談支援センター 風の輪 内 〒554-0021 大阪市此花区春日出北1-1-4-101 電 話 6 4 6 1 - 5 0 5 5 F A X 6 4 6 1 - 5 0 5 6	
障がいのある人が安心して心豊かにすごせるように 社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会  理事長 小 泉 いと子 役員・会員一同 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 5 - 5 6 2 1 F A X 6 7 6 5 - 5 6 2 3		社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター 理事長 梶 浦 一 郎 南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関) わかば(医療型障害児入所施設・短期入所事業) ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業) いぶき(特定相談支援事業・障害児相談支援事業) フェニックス(医療型障害児入所施設・療養介護事業・短期入所事業) なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業) 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5-11-21 電 話 6 6 9 9 - 8 7 3 1 F A X 6 6 9 9 - 8 1 3 4 訪問看護ステーション めぐみ (指定訪問看護事業) 電 話 6 6 9 9 - 8 8 5 5 F A X 6 6 9 9 - 8 8 5 6 ヘルパスステーション めぐみ (指定訪問介護事業) 電 話 7 5 0 6 - 9 2 2 3 F A X 6 6 9 9 - 8 8 5 6 〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16 大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関) あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業) ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業) 〒552-0004 大阪市港区夕風2-5-3 電 話 6 5 7 4 - 2 5 2 1 F A X 6 5 7 4 - 2 5 2 4	

支え合い 共に生きていくために 社会福祉法人 NHK厚生文化事業団近畿支局 支局長 種田 敦志 〒540-0026 中央区内本町1-2-5 YSKビル8F 電話 6232-8401 FAX 6941-0830	 社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 理事長 石田 易司 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12番10号 電話 06-6767-9981 ◇運営事業所一覧◇ 大阪市長居障がい者スポーツセンター 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 大阪市更生療育センター 中津更生園 ワークセンター中授 大阪市立千里作業指導所 大阪市立此花作業指導所 粉浜作業指導所 中津サテライトオフィス 大阪市立早川福祉会館 サテライト・オフィス平野 大阪市障がい者相談支援研修センター 大阪市職業指導センター 大阪市職業リハビリテーションセンター 大阪市障がい者就業・生活支援センター 大阪市発達障がい者支援センター [エルムおおさか] 大阪市立舞洲就労支援所	
社会福祉法人 一隅苑 理事長 和田 偉夫 我孫子地域在宅サービスステーション ・デイサービスセンター ・ホームヘルプセンター ・ケアプランセンター ・総合相談窓口（ランチ） 〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東1-4-37 電話 4700-1000 FAX 4700-1009	社会福祉法人 今川学園 理事長 魚住 誠一 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3-5-8 電話 6713-6106 保育所・隣保館・子どもの家・ キンダーハイム・大和川園・今川の里・ ふれあいホーム・ハーモニ・ ワークセンターいまがわ	社会福祉法人 海の子学園 理事長 間口 敦生 〒552-0015 港区池島3-7-18 電話 6571-1000 FAX 6573-9102 児童養護施設 入舟寮 児童養護施設 池島寮 病後児保育 げんきっこホーム (大阪市病児・病後児保育事業)
社会福祉法人 大阪自彊館 理事長 川端 均 〒557-0014 大阪市西成区天下茶屋1-3-17 電話 6659-8181 FAX 6652-2218 http://www.ojk.or.jp	社会福祉法人 大阪重症心身障害児者を支える会 理事長 寺岡 富子 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-23-11 電話 6622-3759 FAX 6622-3769 E-mail center@sasaeru.or.jp	社会福祉法人 大阪福祉事業財団 理事長 茨木 範宏 常務理事 中上 伸弘 事務局長 桑原 一章 〒536-0001 大阪市城東区古市1-20-4 tel: 06-6931-0098 fax: 06-6933-1699 mail: zaidan-1@occn.zaq.ne.jp HP: http://www.zaidanosaka.or.jp/
社会福祉法人 柿の木福祉の園 理事長 宮川 ヒサ 長居保育園 長居保育園乳児センター 長居子どもの家 長居西地域在宅サービスステーション ながいの里 居宅介護支援事業所 ながいの里 〒558-0004 大阪市住吉区長居東4-11-16 電話 6691-3669 FAX 6691-8292 http://www.kakinoki.or.jp	社会福祉法人 久栄会 理事長 岩崎 久直 〒544-0013 大阪市生野区巽中3-14-3 電話 6756-5200 FAX 6756-6688 http://www.minori-en.com/	社会福祉法人 きれ福祉会 理事長 大久保 孝 障がい福祉サービス事業 就労継続支援B型事業所 ユーアンドアイ 居宅介護・重度訪問介護 サポートわっか 〒547-0025 平野区瓜破西1-8-45 電話 6799-5112 FAX 6799-5113
社会福祉法人 高津学園 理事長 田尻 達朗 〒543-0017 天王寺区城南寺町1番10号 電話 6761-1663 FAX 6768-1653 児童養護施設 高津学園 障害児入所施設 法然寮 障害者支援施設 知恩寮（以上、天王寺区） 児童養護施設 信太学園（和泉市）	社会福祉法人 治栄会 理事長 大森 秀之 〒534-0027 大阪市都島区中野町5-10-70 電話 4253-8055 FAX 4253-8066 http://www.jieikai.or.jp/	社会福祉法人 四恩学園 理事長 中西 裕 〒558-0011 大阪市住吉区荻田4-3-9 電話 6607-2220 FAX 6696-5347 ●乳児院・児童養護施設 ●幼児・乳児・夜間保育園 ●子どもの家（学童）・子育て支援センター ●地域密着型特別養護老人ホーム デイサービス・認知症デイサービス・ホームヘルプセンター 住吉区東地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・ 在宅介護支援センター http://shiongakuen.or.jp
社会福祉法人 四天王寺福祉事業団 理事長 瀧 藤 尊 淳 常務理事 塚 原 昭 人 常務理事 坂 本 峰 徳 〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1-11-18 電話 6771-7971 FAX 6771-8961	社会福祉法人 晋栄福祉会 理事長 濱田 和則 〈鶴見区〉茨田大宮ちどり 施設長 近藤 光 〈都島区〉東野田ちどり保育園 園長 江川永里子 〈城東区〉城東ちどり保育園 園長 浅野 敦子 〈東成区〉大阪市立東中本保育所 所長 高田 幸代 〈大正区〉大阪市立北恩加島保育所 所長 西森 保子 〈北区〉中之島ちどり保育園 園長 小林 操 〈中央区〉御堂筋本町ちどり保育園 園長 武田 朋久 〈福島区〉新福島ちどり保育園 園長 藤本麻里子	社会福祉法人 しんもり福祉会 理事長 松野 五郎 平和の子保育園 平和の子どもの家 らっこデイサービスセンター 大阪市立両国保育所 〒535-0022 大阪市旭区新森7-1-5 電話06-6954-0524 FAX06-6954-1961 heiwa-ko@vega.ocn.ne.jp http://www.shinmori-fukushikai.or.jp

社会福祉法人 水仙福祉会 理事長 松村 寛 〒533-0004 大阪市東淀川区小松1-13-21 電話 6328-3786 FAX 6328-3788 E-mail honbu@suisen.or.jp http://www.suisen.or.jp/	社会福祉法人 聖家族の家 理事長 上利 久芳 〒546-0033 東住吉区南田辺4-5-2 電話 6699-7221 FAX 6699-7243 児童養護施設 聖家族の家 乳児院 聖母託児園 児童心理治療施設 児童院 E-mail holyfamily@luck.ocn.ne.jp	社会福祉法人 大念仏寺社会事業団 理事長 杉田 善久 〒547-0045 平野区平野上町1-7-3 電話 6791-5410 大念仏乳児院、ボ・ドーム大念仏、 ボ・ドーム、子どもの家「童夢」、 いちよう保育園、いちようベビーセンター、 ひらのドリーム園、南生野いちよう保育園、 ドレミ広場
社会福祉法人 なみはや福祉会 理事長 竹本 榮 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6761-3010 http://www.namihaya.or.jp	社会福祉法人 日本ライトハウス 理事長 橋本 照夫 〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2-4-37 電話 6961-5521 FAX 6968-2059 http://www.lighthouse.or.jp/	やさしさと思いやりのある介護 社会福祉法人 ビーナス福祉会 理事長 田村 文子 〒551-0003 大阪市大正区千島1-23-26 電話 6553-4800 FAX 6553-7771 http://www.venushome.jp/
 社会福祉法人 みおつくし福祉会 理事長 久保 直也 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6765-5611 FAX 6765-5614 http://www.mioticsukushi.or.jp/	 社会福祉法人 みなと寮 理事長 大西 豊美 〒586-0052 河内長野市河合寺423番1 電話 0721-62-3700 FAX 0721-62-3711 http://www.minatoryo.or.jp/	社会福祉法人 都島友の会 理事長 渡久地 歌子 〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-4-3 電話 6921-0321 FAX 6924-2055 http://www.miyakojima.or.jp
あふれる笑顔 社会福祉法人 優心会 理事長 垣谷 隆太 ・介護老人福祉施設 ・通所介護 ・短期入所生活介護 ・居宅介護支援事業 〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺3丁目2番3号 TEL:06-6700-8000 FAX:06-6700-8400 http://yuushinkai.or.jp	公益社団法人 大阪社会福祉士会 会長 前川 阿紀子 副会長 小尾 智恵子 〃 矢島 繁勝 〃 中本 勝也 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内 電話 4304-2772 FAX 4304-2773 http://www.oacsw.or.jp	シルバーパワーで頑張ります 公益社団法人 大阪市シルバー人材センター 本部 城東区関目3-1-14 電話6931-0221 南部支部 天王寺区東高津町12-10 電話6765-6116 西部支部 西区立売堀4-10-18 電話6543-7011 北部支部 北区池田町1-50 電話6882-3830 調剤科 城東区関目3-1-14 電話6180-1010 (本部事務所併設) http://www.osakasc.or.jp
 学校法人 田島学園(奈良東病院グループ) 近畿社会福祉専門学校 厚生労働大臣指定(介護福祉士養成校) 理事長 鉄村 俊夫 学校長 榎 豪司 〒534-0025 大阪市都島区片町1-5-13 大手前センチュリービル3階 電話 6136-1117 FAX 6136-1115 http://www.kinki-swc.ac.jp	福祉のココロを 届ける広報  株式会社 きかんしコム Tel. 075-935-1115 Fax. 075-935-5100 〒601-8205 京都市南区久世殿城町 330-1	

本年もよろしく
お願いいたします

大阪市地域福祉活動推進委員会

市社協

各区の特長的な取組みを集約

市社協は11月29日、大阪市立社会福祉センターで「第39回大阪市地域福祉活動推進委員会」（以下、委員会）を開催した。委員会では、平成30年度からの3か年計画として「大阪市地域福祉活動推進計画」（以下、計画）を推進しており、今年度は計画2年目となる。

委員会に先立ち、10月17日に開催された中間評価会議では、計画に掲げる「市社協が取り組む事項」（12項目）の進捗状況と、民間活動の評価の一環として集約した「各区における特長的な取組み」について報告された。

今回の委員会は、中間評価会議の内容を共有したうえで意見交換を実施。まず「市社協が取



中間評価会議について鈴木大介委員から報告

り組む事項」について、委員からは「数字（取組みの実施回数、参加人数、活動団体数、アンケート回収率など）が持つ意味について、丁寧に読み取る必要がある」「回数や人数だけではなく、活動の質の高まりや、一度関わった人が継続的に参画しているのかについても目を向けた」といった意見が交わされた。「各区における特長的な取組み」については、各区社協から提出された取組み情報（計126件）を、計画の重点目標（①担い手②居場所③見守り）ごとの一覧表で整理。さらにキーワードを抽出して、カテゴリー別に整理した。この作業は、評価というより、取組みの実態把握の段階ではあるが、計画の内容に関する実際の区・地域での動きを読み取り、今後必要な取組みを考える素材となるため、次期計画の作成にもつながるものであると確認された。

最後に、「参画と協働のための地域福祉ガイドブック」の第5弾として作成中の「企業・商店×地域」（仮称）について進捗報告。現在、収録事例を取材中であり、3月の発行を予定している。

参加者募集

地域福祉シンポジウム

小地域福祉活動の推進と今後の展開について

2月5日

市社協

市社協では、平成27年度から毎年1回、「地域福祉シンポジウム」を開催しています。今回のテーマは「小地域福祉活動の推進と今後の展開について」。

大阪市内では、おおむね小学校区（小地域）を単位として、居場所づくり、見守り活動な



講師：関西大学
所 めぐみ 教授

ど、地域住民が主体となった福祉活動が長年に渡り取り組まれてきました。

今回のシンポジウムでは、基調講演と3つの実践報告を通して、身近な地域での住民同士のつながり・支え合いの活動やその推進の基盤となる話し合いの場づくり、新たな担い手の参画について考え、共有します。

皆さまのご参加をお待ちしております。

（担当 大阪市社会福祉協議会
地域福祉課）

1 「大淀西ニコニコプラン」に基づき展開している新たな福祉活動について



報告者 大淀西地域社会福祉協議会 会長 山崎 英興 さん
大淀西地域社会福祉協議会 理事 井上 治美 さん

2 地域の団体と学生が共同で行う「みんな食堂」の取組みについて



報告者 清明丘地区社会福祉協議会 会長 石橋 一昭 さん

3 つながる・安心安全のまちをめざして近所付き合いの第一歩 <全戸アンケート調査の取組み>



報告者 さざんか海の町協議会 会長 小高 秀昭 氏
海の町地区民生委員児童委員協議会 委員長 中川 千鶴 氏

日時 令和2年2月5日（水）午後1時30分～4時30分
場所 中央会館 1階ホール（大阪市中央区島之内2-12-31）
対象 テーマに関心のある市民・関係者など（定員150人／事前申込制／先着順）
申込方法 市社協ホームページ内の参加申込みフォーム、メール、FAX、電話
TEL 06-6765-5606
FAX 06-6765-5607
E-mail chiiki-fukusi@osaka-sishakyo.jp
HP <http://www.osaka-sishakyo.jp/>
申込期日 令和2年1月29日（水）※定員に達した場合、また申込み受付を延長する場合はホームページに掲載します。



東淀川区

支え合い・助け合いの地域を目指して

～みんなで拡げる居場所いろいろ～

東淀川区社会福祉大会

東淀川区社会福祉大会が10月25日、東淀川区民ホールで開催された。第一部では地域福祉活動の功労者へ表彰状・感謝状が贈呈され、第二部では、「支え合い・助け合いの地域を目指して～みんなで拡げる居場所いろいろ～」と題して、講演と区内の取組み報告、パネルディスカッションをおこなった。

地域ネットワークが紡ぐ、豊かな可能性を見つめて

桃山学院大学の石田易司^{やすのり}名誉教授の講演では、市内で取り組んでいる「子ども食堂ネットワーク」での体験をベースに、ネットワークの可能性についての事例を紹介。子ども食堂を起点とし、学校、NPO法人、福祉施設、ボランティア組織といった地域ネットワークが、一人の青年の人生形成を支えるという可能性が話された。一人の生徒が、高校内でNPO運営の朝ごはんの子ども食堂で過ごしてい



石田易司名誉教授

く中、食堂では人気者となり、先生の協力で6年かかって高校を卒業。職探しに苦労するも、区内の福祉施設で有償ボランティアとして勤務し、貯まったお金でお菓子を買ってきたり、子どもたちの世話をしてくれるようになるなど、つながりの中で自身が役に立っているということが自己有能感を高め、自分の存在を肯定的に捉えるようになっていく。

多様な主体・協働による取組みを報告

パネルディスカッションには、区内で多様な居場所づくりを実践している3人の活動者が登壇。地域、社会福祉施設、学校の立場から報告された。

豊新地域活動協議会事務局長の川崎敦弘さんは、いざという時に不安な高齢の方や遊び場がないと感じて



左から、川崎さん、高橋さん、谷口さん

るを紹介。男性対象の「コーヒーの淹れ方講座」も好評で、今後も地域の人たちがつながれる興味のわく事業を展開していきたいと思いを語った。

大阪自彊館ベラミ・柴島ブランド生活相談員の高橋加容さんは、法人が運営する複合施設の花壇づくりを通して、利用者である高齢者と近隣のボランティアや保育園児の交流が生まれたエピソードを紹介。園庭がなく土に

いる子どもたちに、会館を自由に開放することで多世代が交流できる居場所ができたことや地域一体となって取り組んでいる子ども食堂や食のフェスティバル

触れる機会のない子どもたちが、利用者や地域ボランティアに教わりながら四季を通して植栽を育む様子を伝え、地域における施設の役割を語った。

福島区

ひきこもりと8050問題を考える

～社会的孤立から尊い命をまもるために～
長期化したひきこもりの子と親への支援を考える

11月6日、福島区社協は、区民センターで、講演会「ひきこもりと8050問題を考える」を開催した。講師は、フリージャーナリストで特定非営利法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会の理事を務める池上正樹さん。

8050問題とは、「80代の親が収入のない50代の子の生活を支え、行き詰まる」状況をいう。「ひきこもる子の存在を恥だと思い、親が隠していることもあり、こどもは社会につながれない。家族全体が地域社会から孤立している」とひきこもり

大阪成蹊短期大学・栄養学科教授の谷口信子さんは、大学の施設を活用し、学生と地域高齢者が出会う「健康教室」の取組みを報告。地域の閉じこもりがちな高齢者に学内で昼食を提供。学生には学びの実践・成長の機会に、高齢者には健康維持・外出の機会・若い世代との交流というwin-winの関係が生まれていることを報告した。

最後に、石田先生が「たとえ失敗しても、それを笑いあえる関係が大事。自分の世代に完結せず、お互いにつながりあっている能力を活かしあい、街が豊かになっていく。そんな東淀川になればとても素敵だと思えます」とパネルディスカッションを締めくくった。

の特徴を述べ、さまざまな8050問題の事例を提示した。

ひきこもりには、リストラ、介護、いじめ、暴力、モラハラ、病気、災害などさまざまな背景がある。興味深いのは、家族を含む周囲の対応がひきこもりを長期化させる原因になっていたことだ。「相談したのに助けてもらえなかった」例として、行政機関で、支援の必要性を「経済的困窮の有無」「障がい認定の有無」「年齢」をもつ



多くの人が集まり、熱心に聞き入っていた

て判断されたことが、制度の「狭間」にある人たちが「引きこもらされている」という結果につながっていることもあった。また家族が、「働きなさい」「いつまでこんなことしているんだ」などの言葉で追い詰めてしまふようなことがあると、暴力などの悲劇に至ることもあると警鐘を鳴らす。

池上さんは「就労支援」と「生き方支援」を分けるべきだという。「人と会うのが恐い人にとって、就労の成果を求める支援はなじまない。最優先は、命や生きる意欲。支援者がつくるプログラムも、傷ついてきた人にはハードルとなる。それぞれに合ったペースでいられる居場所が必要」、また、「誰もがど



池上 正樹さん

の年代でも何歳からでも、ひきこもり、状態になり得る可能性があり、困ったときに、助けて、と言えるような関係ができるといい」と話した。長年にわたり池上さんがジャーナリストとして関わってきたひきこもりの方の現状を知り、それぞれの立場で改めて自分たちに何ができるのかを考え、理解を深める意義な機会となった。

区社協見守り相談室管理者の井上貴子さんは、講演会開催の意図についてこう話す。「言葉だけが独り歩きしているように感じる。講演会は、実態を知ってもらうことが目的。実態がわからないと『恐くて支援できない』『放っておこう』という考えが当事者やその家族を孤立させることにつながる。ひきこもりの原因は多様であり、さまざまな資源を活かした幅広い支援が必要である。話を聞いていただいて、理解が広がり、少しでも偏見をとりのぞくことができた」と思いを語った。

風をよむ

「断らない相談」が意味するもの

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 野村 恭代

現在、厚生労働省（以下、厚労省）は、検討を進める地域共生社会の構築に向けた取り組みにおいて、「断らない相談」体制の整備、相談者や家族の状況に応じた「継続支援」、さらに孤立防止に向けた地域づくりを一体で進める任意事業を、早ければ2021年度から実施し、必要な財政支援をおこなう方針を示している。

域住民が抱える多様な生活課題の相談に一括して対応する支援体制の整備である。すべての相談を断ることなく受け止め、関係機関と緊密に連携しながら就労や住居など個別ケースに応じて柔軟に支援することが求められている。検討委員会はこれらの案を2019年内に取りまとめ、厚労省は2020年の通常国会に関連法案を提出する方針である。

近年、80代の親と引きこも

談に行くことができたとしても、その場で受け止めてもらえずに表出したSOSを再び自分のなかにしまい込み、地域のなかで孤立する場合も多々みられる。

このような状況を鑑み、厚労省は有識者会議を5月に設置し、対策を議論してきた。先述したとおり、報告案では「相談者の属性や課題にかかわらず、幅広く相談を受け止める『断らない相談支援』を推進する必要がある」ことを

強調する。

「断らない相談」は、行政にはそのしくみづくりをおこなう覚悟が求められること、そして専門職には、地域を念頭に置いた支援と地域の側に身を置くことの覚悟、そして、サービスで人を支えるという発想からの脱却が必要であることを意味している。

りの状態にある50代の子どもがともに困窮状態に陥る「8050問題」等が顕在化している。このような8050問題をはじめ、複雑化、深刻化、多様化、そして潜在化したさまざまな課題を抱える世帯の数は、私たちの想像をはるかに超える。しかし、現行の相談支援体制は制度や対象者による縦割りであり、相談の窓口がどこにあるのかも住民側からすると不明瞭である。さらに、何とか自力で相

NPO法人子どもセンターぬっくは、2016年4年から、虐待等により、安心して帰れる家がなく、今日眠るところがないなど、居場所のない女子(10代後半くらい)のための緊急避難場所「子どもシェルター」の運営を開始しました。一軒家を借り、24時間大人のスタッフが常駐し、30名以上のボランティアの方の協力を得て、温かい手作りのごはんや、関心を寄せる大人との何気ない会話など、ごく普通の温かな日常生活を提供しています。また、虐待等により自己肯定感や他者への信頼を奪われ、傷ついた子どもたち一人ひとりに、子ども担

ーム)を開始する予定です。
10代で暴力や暴言のない、安心して帰れる家がない。これはごく身近で起きている、現実の話であり、大人や社会、つまり私たち自身の課題です。大人一人ひとりが、温かい言葉かけやまなごして日々身近な子どもたちに接することから始められたら、と思うのです。
○支援に興味のある方へ…ボランティア養成講座(毎年2回実施)、定例勉強会にぜひお越しください。
○「居場所のない子ども110番」0120-528-184(10~20代若者の専用ダイヤル)

はじめまして!
いんにちは♪

NPO法人のご紹介

安心できる実家のない子どもたちに居場所を NPO法人 子どもセンターぬっく

当弁護士が就きます(無料)。居場所を失い、頼れる保護者がいない子どもには、その思いに寄り添い、意見を尊重し、それらの表明や実現に協力する人が必要だからです。
また、4月からは、半年から1年くらいの長期間、就労や就学をしながら自立の準備をするための共同生活の場(自立援助ホ

生きづらさを抱えた子どもの相談を聴いて、その思いを受けとめ、今後のことを一緒に考えます。
具体的には…
○帰る家がなく、友達の家やネットカフェで寝泊まりしているけど、限界…。
○いつもバイト代を家族にとられて…。
○妊娠して家を飛び出したけど、帰るところがない…。
○彼氏・彼女に暴力を振るわれ、暴言を吐かれるけど、行くところがない…。



お菓子作りの様子



子どもたちの作品

子どもたちの個室

(事務局) 住所 〒530-0047
大阪市北区西天満4-1-4
第三大阪弁護士ビル503号
TEL 06-6355-4648
E-mail kodomo@nukku.info



HP

- 第1部〈実践報告〉
- ①「優しい心がすくすく育つ ～世代間交流で共活共助～(西区)」
社会福祉法人亀屋会 江之子島コスモス苑
副施設長 今西 里奈さん 地域福祉部部长 小幡 誠司さん
 - ②「福島区社会福祉施設連絡会の地域貢献活動について(福島区)」
福島区社会福祉施設連絡会会長・社会福祉法人麦の穂 玉川ひばりこども園
園長 角上 美恵子さん
福島区社協 地域支援担当副主幹 河元 義和さん
 - ③「てへべるキッチンのつくり方(此花区)」
社会福祉法人ラヴィータウノ 副施設長 中川 春彦さん
クラフト株式会社 さくら薬局大阪西島店 管理薬剤師 安野 嘉人さん
此花区社協 地域支援担当 鹿島 諒さん
- 第2部〈講演〉
「幸せを生み出す福祉実践とは」 講師: 桃山学院大学 小野 達也 教授

参加者募集

大阪市内の各社会福祉法人において、さまざまな取り組みが展開されています。今回の学習会では、3つの実践報告と講演を通して、地域等で求められている使命や役割を改めて認識し、今後さらなる地域における公益的な活動の推進について考え、共有します。皆さまのご参加をお待ちしています。

(担当) 市社協 地域福祉課

地域における公益的な活動の実践報告

大阪市社会事業施設協議会「一水会」
区社会福祉施設連絡会合同学習会

日時 令和2年1月30日(木)午後2時～4時30分
場所 大阪市立社会福祉センター 3階 第1会議室
(大阪市天王寺区東高津町12-10)
対象 社会福祉施設職員やテーマに関心のある市民・関係者など
(定員100人/事前申込制/先着順)
申込方法 ホームページ内の参加申込みフォーム、メール、FAX、電話
TEL 06-6765-5606
FAX 06-6765-5607
E-mail sisetsu-mail@sisetsukyo.osaka-sishakyo.jp
HP <http://www.osaka-sishakyo.jp/>(市社協)
<http://sisetsukyo.osaka-sishakyo.jp/>(施設協)
申込期日 令和2年1月23日(木)まで

1月30日

施設協 市社協

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

クルマの保険 火災の保険 地震の保険

www.ms-ins.com